



2013年12月9日

会員卓話 『私の業界』

高柳公康 会員

「株式会社ケー・デー・シー」は官公庁をメイン顧客として、「システム開発」・「情報処理」・「人材」という3つのサービスを提供するベンチャー企業です。

当社の仕事はすべて「人」に係わる為、「人材育成が不可欠」な企業なのです。当社は設立当初から「初めての事なら大手もベンチャーも差がない」「思いと思いやりが人を動かす」という経験を基に、「社員一人一人の成長が組織・会社の成長につながる」という考え方を人材育成の基本理念として若手育成に努めています。

当社サービスにおいて業務を履行する上で不可欠な条件があります。

それは、「必ずシステムを稼働させること」「お客様と当社のお互いの信頼関係」です。この二つを実現させる為には担当者の技術的な

スキルアップと人間性の向上が必要となりますが、担当者が向上心を高く保つ為には、夢や目標をしっかりと持ち続ける必要があります、その結果が行動に表れると考えています。

つまり、「決心する(夢を持つ)」→「決意する(目標を定める)」→「意志を持つ(姿勢を決める)」→「知恵や努力が生まれる(行動に表れる)」という一連の流れが夢の実現につながり、その結果、個人が成長し、お客様の満足度が向上し、会社の成長につながるのです。

当社では「夢を持って仕事に取り組もう」というスローガンで人材育成を図っています。



谷口郁夫 会員

昨年のイニシエーション・スピーチから、まだ、6ヶ月しか経っていませんが、私の業界についてお話させていただきます。

基本的に、私は公認会計士です。税理士として税務業務も取り扱います。また、以前、外資系の証券会社に勤務していたので、投資のアドバイスができる投資助言業者でもあります。私の事務所は、主に海外投資と企業の海外進出のサポートをしています。海外の事業や不動産投資のサポートの仕事もありますが、最近では、海外生命保険のお問い合わせが多いです。また、ボランティアで投資被害の弁護団に参加したりしています。

昨今、土業不況という言葉を聞いたりしますが、私の業界もなかなか厳しいというのが正直なところ。水面下で必死に水をかいてい

たりもします。現在、TPPの交渉中ですが、これにより会計士・税理士業界を含めた土業のあり方が、かなり変わるのではないかと考えています。

金融業界では、短期的な収益に重きを置くよりは、長期の安心・安全、確実な収益を重視したビジネスが必要とされていると思います。その上で、公認会計士・税理士と投資助言という仕事をどのように組み合わせることができるかが、私の課題です。ご清聴、有難うございました。

